

---

---

## ATtiny3216/3217 シリコン障害とデータシート説明

---

---

### 序説

お客様が受け取ったATtiny3216/3217デバイスはこの資料で記述される異常を除き、現在のデバイスのデータシート([www.microchip.com/DS40002205](http://www.microchip.com/DS40002205))に対して機能的に一致します。この資料で記述される障害はATtiny3216/3217デバイスの将来の改訂で処置されるかもしれません。

- 注:** • この資料は現在だけでなく過去のシリコンの全ての版からの全てのシリコン障害問題を要約します。
- 特定デバイスに対するデバイス識別と改訂のIDのより多くの詳細な情報については、デバイスの現在のデータシート([www.microchip.com/DS40002205](http://www.microchip.com/DS40002205))でデバイス/改訂ID部分を参照するか、または手助けのために最寄りのMicrochip営業所にお問い合わせください。

本書は一般の方々の便宜のため有志により作成されたもので、Microchip社とは無関係であることを御承知ください。しおりの[はじめに]での内容にご注意ください。

## 目次

序説	1
1. シリコン問題要約	3
2. シリコン障害問題	4
2.1. 障害詳細	4
2.2. デバイス	4
2.3. ADC – A/D変換器	4
2.4. CCL – 構成設定可能な注文論理回路	5
2.5. RTC – 実時間計数器	5
2.6. TCB – 16ビットタイマ/カウンタ型	5
2.7. USART – 万能同期/非同期送受信器	6
3. データシート説明	8
3.1. なし	8
4. 文書改訂履歴	9
4.1. 改訂履歴	9
4.2. 追補 – 廃止された改訂履歴	10
Microchipウェブサイト	11
製品変更通知サービス	11
お客様支援	11
Microchipデバイスコード保護機能	11
法的通知	11
商標	12
品質管理システム	12
世界的な販売とサービス	13

## 1. シリコン問題要約

### 凡例

- 障害は適用されません。
- × 障害が適用されます。
- \* このシリコン改訂は製品に関して一度も公開されませんでした。

周辺機能	簡単な説明	シリコン改訂に対する有効性		
		改訂	A	B
デバイス	2.2.1. FUSE.OSCCFGのOSCLOCKヒューズの'1'書き込みが校正値の自動設定を妨げます。	×	*	×
ADC	2.3.1. ADCを禁止すると立往生する保留中の事象	×	*	-
	2.3.2. 1.5MHzを超えるCLKADCと25%デューティサイクル設定で保証できないADC機能	×	*	×
	2.3.3. 1.5MHzを超えるCLKADCとVDD<2.7Vで低下するADC性能	×	*	×
	2.3.4. ADC自由走行動作禁止後に実行される1つの余分な測定	×	*	×
CCL	2.4.1. OUTENが'1'に設定されることを必要とする連結動作でのLUT接続	×	*	-
	2.4.2. Dラッチが機能しない。	×	*	-
RTC	2.5.1. RTC.CTRLAレジスタへのどの書き込みもRTCとPITの前置分周器をリセット	×	*	-
	2.5.2. RTC禁止がPITを停止	×	*	-
TCB	2.6.1. 選んだクロック周期を超えなければならない最小事象持続期間	×	*	×
	2.6.2. TCBの再始動を強制しないTCA再始動指令	×	*	×
USART	2.7.1. 送信部禁止時に解除されないTxDピン無効化	×	*	×
	2.7.2. 誤った開始ビットを起こすかもしれない直前のメッセージでのフレーム異常	×	*	-
	2.7.3. TxDが出力として構成設定される時に動かないオープンドレイン動作	×	*	×

2. シリコン障害問題

2.1. 障害詳細

- 障害は適用されません。
x 障害が適用されます。
\* このシリコン改訂は製品に関して一度も公開されませんでした。

2.2. デバイス

2.2.1. FUSE.OSCCFGのOSCCLOCKヒューズの'1'書き込みが校正値の自動設定を妨げます。

発振器構成設定(FUSE.OSCCFG)の発振器施錠(OSCCLOCK)ヒューズの'1'書き込みは識別列からの自動校正値設定を妨げます。

対策/対処:

発振器校正値を施錠するのにOSCCLOCKを使わないでください。発振器校正値は16/20MHz発振器校正B(CLKCTRL.OSC20MCALIB)レジスタのヒューズによる発振器校正施錠(LOCK)に'1'を書くことによって施錠することができます。

影響を及ぼされるシリコン改訂

Table with 2 rows: 改訂, 影響. Columns include A, B, C, and others.

2.3. ADC - A/D変換器

2.3.1. ADCを禁止すると立往生する保留中の事象

事象起動変換中にADCが禁止された場合、事象が解除されません。

対策/対処:

ADCを禁止する前に事象制御レジスタの事象入力開始(ADCn.EVCTRL.STARTEI)ビットを解除(0)して変換完了を待ってください。

影響を及ぼされるシリコン改訂

Table with 2 rows: 改訂, 影響. Columns include A, B, C, and others.

2.3.2. 1.5MHzを超えるCLKADCと25%デューティサイクル設定で保証できないADC機能

'1'に設定したADC校正レジスタのデューティサイクル(ADCn.CALIB.DUTYCYC)でCLKADC>1.5MHzの場合、ADC機能は保証することができません。

対策/対処:

ADCがCLKADC>1.5MHzで動作する場合、ADCn.CALIB.DUTYCYCは'0'(50%デューティサイクル)に設定されなければなりません。

影響を及ぼされるシリコン改訂

Table with 2 rows: 改訂, 影響. Columns include A, B, C, and others.

2.3.3. 1.5MHzを超えるCLKADCとVDD<2.7Vで低下するADC性能

VDD<2.7Vの間にCLKADC>1.5MHzでADCn.CALIB.DUTYCYCが'0'に設定される場合、ADCの積分性非直線誤差(INL)性能が低下します。

対策/対処:

ありません。

影響を及ぼされるシリコン改訂

Table with 2 rows: 改訂, 影響. Columns include A, B, C, and others.

2.3.4. ADC自由走行動作禁止後に実行される1つの余分な測定

ADC制御レジスタの自由走行(ADCn.CTRLA.FREERUN)解除(0)後にADCは1つの追加測定を実行するかもしれません。

対策/対処:

自由走行動作を直ちに停止するにはADC制御レジスタの許可(ADCn.CTRLA.ENABLE)に'0'を書いてください。

影響を及ぼされるシコン改訂

改訂	A	B	C																					
影響	×	*	×																					

2.4. CCL – 構成設定可能な注文論理回路

2.4.1. OUTENが'1'に設定されることを必要とする連結動作でのLUT接続

連結動作でのLUT接続は入力元を提供するLUTに対して出力許可(LUTnCTRLA.OUTEN)が'1'に設定されることを必要とします。

対策/対処:

LUTを連結するのに事象チャネルを使うか、または対応する入出力ピンを他の目的に使わないでください。

影響を及ぼされるシコン改訂

改訂	A	B	C																					
影響	×	*	-																					

2.4.2. Dラッチが機能しない。

CCLのDラッチが機能しません。

対策/対処:

ありません。

影響を及ぼされるシコン改訂

改訂	A	B	C																					
影響	×	*	-																					

2.5. RTC – 実時間計数器

2.5.1. RTC.CTRLAレジスタへのどの書き込みもRTCとPITの前置分周器をリセット

RTC制御A(RTC.CTRLA)レジスタへのどの書き込みもRTCとPITの前置分周器をリセットします。

対策/対処:

ありません。

影響を及ぼされるシコン改訂

改訂	A	B	C																					
影響	×	*	-																					

2.5.2. RTC禁止がPITを停止

RTC許可(RTC.CTRLA.RTCEN)への'0'書き込みはPITを停止します。

周期割り込み計時器許可(RTC.PITCTRLA.PITEN)への'0'書き込みはRTCを停止します。

対策/対処:

この単位部の何れかが使われている場合にRTCやPITを禁止しないでください。

影響を及ぼされるシコン改訂

改訂	A	B	C																					
影響	×	*	-																					

2.6. TCB – タイマ/カウンタB型

2.6.1. 選んだクロック周期を超えなければならない最小事象持続期間

事象検出はTCBnが選んだクロック元(制御A(TCBn.CTRLA)のクロック選択(CLKSEL))の周期よりも短いHigh/Low期間を持つ入力事象を受け取る場合に失敗します。これは制限時間検査(TIMEOUT)、計数捕獲(CAPT)、計数捕獲周波数/パルス幅測定(FRQPW)のTCB動作(制御B(TCBn.CTRLB)の計時器動作(CNTMODE))に適用します。

対策/対処:

入力事象のHigh/Low期間が選んだクロック元(制御A(TCBn.**CTRLA**)のクロック選択(**CLKSEL**))の周期と等しいか長いことを確実にしてください。

影響を及ぼされるシロン改訂

改訂	A	B	C																				
影響	×	*	×																				

## 2.6.2. TCBの再始動を強制しないTCA再始動指令

TCBが同期更新(**SYNCUPD**)動作で動いている時にTCA再始動指令がTCBの再始動を強制しません。TCBはTCA溢れ(**OVF**)後にだけ再始動されます。

対策/対処:

ありません。

影響を及ぼされるシロン改訂

改訂	A	B	C																				
影響	×	*	×																				

## 2.7. USART – 万能同期/非同期送受信器

### 2.7.1. 送信部禁止時に解除されないTxDピン無効化

USARTは次の場合にTxDピンの無効化を解除しません。

- USART受信部が禁止されている(制御B(USARTn.**CTRLB**)の受信許可(**RXEN**)が'0'の間)にUSARTn.**CTRLB**の送信許可(**TXEN**)ビットへの'0'書き込みによってUSART送信部が禁止される場合
- USARTn.**CTRLB**で**TXEN**と**RXEN**のビットに'0'を書くことによってUSARTの送信部と受信部の両方が同時に禁止される場合

対策/対処:

次の2つの可能な対策があります。

- 送信部を禁止する(USARTn.**CTRLB**の**TXEN**への'0'書き込みの間、受信部が許可されている(USARTn.**CTRLB**の**RXEN**が'1'である)ことを確実にしてください。
- 送信部禁止後にUSART内の何れかのレジスタに書いてください。これはTxDピンのピン無効化を解除するために充分長い間USARTを開始します。

影響を及ぼされるシロン改訂

改訂	A	B	C																				
影響	×	*	×																				

### 2.7.2. 誤った開始ビットを起こすかもしれない直前のメッセージでのフレーム異常

設定(1)されたフレーム異常フラグ(**RXDATAH.FERR**)を持つフレームを受信してRxD線がHighになる前に受信データ下位バイト(**RXDATAL**)を読む場合、誤った開始ビット検出が起動します。

対策/対処:

例えばRxDピンが配置されたポート入力(**PORTn.IN**)のビットをポーリングすることにより、**RXDATA**を読む前にRxDピンがHighになるのを待ってください。

影響を及ぼされるシロン改訂

改訂	A	B	C																				
影響	×	*	-																				

### 2.7.3. TxDが出力として構成設定される時に動かないオープンドレイン動作

USART TxDピンが出力として構成設定されると、オープンドレイン動作が許可されて居るか否かに関わらず、ピンをHighに駆動し得ます。

対策/対処:

オープンドレイン動作使用時に対応する方向(**PORTx.DIR**)ビットに'0'を書くことによってTxDピンを入力として構成設定してください。

影響を及ぼされるシロン改訂

改訂	A	B	C																					
影響	×	*	×																					

### 3. データシート説明

デバイスのデータシート([www.microchip.com/DS40002205](http://www.microchip.com/DS40002205))の最新版に対して以降の誤植修正と説明に注意されるべきです。

**注:** 修正は太字で示されます。可能な場合、明確にするため、元の太字の文字書式は削除されています。

#### 3.1. なし

この公開日の時点で既知のデータシート説明はありません。



## 4. 文書改訂履歴

注: データシート説明文書改訂はダイ改訂とデバイス変種(注文番号の最後の文字)と無関係です。

### 4.1. 改訂履歴

文書改訂	日付	注釈
A	2020年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初回文書公開</li> </ul> <p>この文書の内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ATtiny1614シリコン障害とデータシート説明</li> <li>・ ATtiny1616/3216シリコン障害とデータシート説明</li> <li>・ ATtiny1617/3217シリコン障害とデータシート説明</li> </ul> <p>から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ATtiny1614/1616/1617シリコン障害とデータシート説明 (本文書)</li> <li>・ <b>ATtiny3216/3217シリコン障害とデータシート説明 (本文書)</b></li> </ul> <p>に再構築されました。</p> <p>更なる詳細については「<a href="#">4.2. 追補 - 廃止された改訂履歴</a>」を参照してください。</p> <p>以下の項目は廃止された文書の最新改訂と本文書間の変更を参照しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 追加した障害 <ul style="list-style-type: none"> <li>- デバイス: FUSE.OSCCFGのOSCLOCKヒューズの'1'書き込みが校正値の自動設定を妨げます。</li> <li>- USART: TxDが出力として構成設定される時に動かないオープンドレイン動作</li> </ul> </li> <li>・ ATtiny3216/3217に該当しない障害を削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>- AC <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 割り込みが許可されていない限り設定されないAC割り込み要求フラグ</li> <li>・ 或る条件下で起きるかもしれない誤った起動</li> <li>・ 低電力動作禁止時にACの負入力掃引時の誤った起動</li> </ul> </li> <li>- ADC <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SAMPLENと共に動かないSAMPDLYとASDV</li> <li>・ RESH読み込み時に解除(0)されるADC割り込み要求フラグ</li> <li>・ 動かない自由走行中のADC制御ビット変更</li> <li>・ WCMPでのADC起き上がり</li> </ul> </li> <li>- TCB <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CCMPH読み込み時に解除(0)されるTCB割り込み要求フラグ</li> <li>・ 前置分周されたクロックで動かないTCB計数捕獲周波数/パルス幅測定動作</li> </ul> </li> <li>- TCD <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偽事象を与えるかもしれないTCD事象出力線</li> <li>・ 動かないTCD自動更新</li> </ul> </li> <li>- TWI <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセスできないTWI.MCTRLAレジスタのTIMEOUTビット</li> <li>・ TWI主装置動作が間違っって開始条件を停止条件として検出</li> <li>・ 余分なクロックパルスを与える簡便動作</li> <li>・ アクセスできないTWI主装置迅速指令許可</li> </ul> </li> <li>- USART <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LIN同期領域確認時に支援されない全範囲デューティサイクル</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 対応するデータシートが正しい情報で更新されたため、データシート説明を削除</li> </ul>

4.2. 追補 – 廃止された改訂履歴

注: ピン数で編成された文書からの文書構造変更のため、以下の廃止された文書履歴が参考として提供されます。

- ATtiny1614シリコン障害とデータシート説明 (DS40002119B)
- ATtiny1616/3216シリコン障害とデータシート説明 (DS40002120B)
- ATtiny1617/3217シリコン障害とデータシート説明 (DS40002121B)

4.2.1. 廃止された文書DS40002119

文書改訂	日付	注釈
A	2019年6月	• 初回文書公開
B	2019年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文書雛形更新</li> <li>• ADC障害「全ての条件に対して1.5MHzを超えるADCCLKで保証できないADC機能」は2つの独立した障害に分けられ書き直されました。</li> <li>• ADCとPTCの電気的特性に対する説明を追加</li> </ul>

4.2.2. 廃止された文書DS40002120

文書改訂	日付	注釈
A	2019年6月	• 初回文書公開
B	2019年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文書雛形更新</li> <li>• ADC障害「全ての条件に対して1.5MHzを超えるADCCLKで保証できないADC機能」は2つの独立した障害に分けられ書き直されました。</li> <li>• ADCとPTCの電気的特性に対する説明を追加</li> </ul>

4.2.2. 廃止された文書DS40002121

文書改訂	日付	注釈
A	2019年6月	• 初回文書公開
B	2019年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 文書雛形更新</li> <li>• ADC障害「全ての条件に対して1.5MHzを超えるADCCLKで保証できないADC機能」は2つの独立した障害に分けられ書き直されました。</li> <li>• ADCとPTCの電気的特性に対する説明を追加</li> </ul>

---

## Microchipウェブ サイト

---

Microchipは<http://www.microchip.com/>で当社のウェブ サイト経由でのオンライン支援を提供します。このウェブ サイトはお客様がファイルや情報を容易に利用可能にするのに使われます。利用可能な情報のいくつかは以下を含みます。

- **製品支援** – データシートと障害情報、応用記述と試供プログラム、設計資源、使用者の手引きとハードウェア支援資料、最新ソフトウェア配布と保管されたソフトウェア
- **一般的な技術支援** – 良くある質問(FAQ)、技術支援要求、オンライン検討グループ、Microchip設計協力課程会員一覧
- **Microchipの事業** – 製品選択器と注文の手引き、最新Microchip報道発表、セミナーとイベントの一覧、Microchip営業所の一覧、代理店と代表する工場

---

## 製品変更通知サービス

---

Microchipの製品変更通知サービスはMicrochip製品を最新に保つのに役立ちます。加入者は指定した製品系統や興味のある開発ツールに関連する変更、更新、改訂、障害情報がある場合に必ず電子メール通知を受け取ります。

登録するには<http://www.microchip.com/pcn>へ行って登録指示に従ってください。

---

## お客様支援

---

Microchip製品の使用者は以下のいくつかのチャネルを通して支援を受け取ることができます。

- 代理店または販売会社
- 最寄りの営業所
- 組み込み解決技術者(ESE:Embedded Solutions Engineer)
- 技術支援

お客様は支援に関してこれらの代理店、販売会社、またはESEに連絡を取るべきです。最寄りの営業所もお客様の手助けに利用できます。営業所と位置の一覧はこの資料の後ろに含まれます。

技術支援は<http://www.microchip.com/support>でのウェブ サイトを通して利用できます。

---

## Microchipデバイスコード保護機能

---

Microchipデバイスでの以下のコード保護機能の詳細に注意してください。

- Microchip製品はそれら特定のMicrochipデータシートに含まれる仕様に合致します。
- Microchipは意図した方法と通常条件下で使われる時に、その製品系統が今日の市場でその種類の最も安全な系統の1つであると考えます。
- コード保護機能を破るのに使われる不正でおそらく違法な方法があります。当社の知る限りこれらの方法の全てはMicrochipのデータシートに含まれた動作仕様外の方法でMicrochip製品を使うことが必要です。おそらく、それを行う人は知的財産の窃盗に関与しています。
- Microchipはそれらのコードの完全性について心配されているお客様と共に働きたいと思います。
- Microchipや他のどの半導体製造業者もそれらのコードの安全を保証することはできません。コード保護は当社が製品を”破ることができない”として保証するということを意味しません。

コード保護は常に進化しています。Microchipは当社製品のコード保護機能を継続的に改善することを約束します。Microchipのコード保護機能を破る試みはデジタル ミレニアム著作権法に違反するかもしれません。そのような行為があなたのソフトウェアや他の著作物に不正なアクセスを許す場合、その法律下の救済のために訴権を持つかもしれません。

---

## 法的通知

---

デバイス応用などに関してこの刊行物に含まれる情報は皆さまの便宜のためにだけ提供され、更新によって取り換えられるかもしれません。皆さまの応用が皆さまの仕様に合致するのを保証するのは皆さまの責任です。Microchipはその条件、品質、性能、商品性、目的適合性を含め、明示的にも黙示的にもその情報に関連して書面または表記された書面または黙示の如何なる表明や保証もしません。Microchipはこの情報とそれの使用から生じる全責任を否認します。生命維持や安全応用でのMicrochipデバイスの使用は完全に購入者の危険性で、購入者はそのような使用に起因する全ての損害、請求、訴訟、費用からMicrochipを擁護し、補償し、免責にすることに同意します。他に言及されない限り、Microchipのどの知的財産権下でも暗黙的または違う方法で許認可は譲渡されません。

## 商標

Microchipの名前とロゴ、Mmicrochipロゴ、Adaptec、AnyRate、AVR、AVRロゴ、AVR Freaks、BesTime、BitCloud、chipKIT、chipKITロゴ、CryptoMemory、CryptoRF、dsPIC、FlashFlex、flexPWR、HELDO、IGLOO、JukeBlox、KeeLoq、Kleer、LANCheck、LinkMD、maXStylus、maXTouch、MediaLB、megaAVR、Microsemi、Microsemiロゴ、MOST、MOSTロゴ、MPLAB、OptoLyzer、PacTime、PIC、picoPower、PICSTART、PIC32ロゴ、PolarFire、Prochip Designer、QTouch、SAM-BA、SenGenuity、SpyNIC、SST、SSTロゴ、SuperFlash、Symmetricom、SyncServer、Tachyon、TempTracker、TimeSource、tinyAVR、UNI/O、Vectron、XMEGAは米国と他の国に於けるMicrochip Technology Incorporatedの登録商標です。

APT、ClockWorks、The Embedded Control Solutions Company、EtherSynch、FlashTec、Hyper Speed Control、HyperLight Load、IntelliMOS、Libero、motorBench、mTouch、Powermite 3、Precision Edge、ProASIC、ProASIC Plus、ProASIC Plusロゴ、Quiet-Wire、SmartFusion、SyncWorld、Temux、TimeCesium、TimeHub、TimePictra、TimeProvider、Vite、WinPath、ZLは米国に於けるMicrochip Technology Incorporatedの登録商標です。

Adjacent Key Suppression、AKS、Analog-for-the-Digital Age、Any Capacitor、AnyIn、AnyOut、BlueSky、BodyCom、CodeGuard、CryptoAuthentication、CryptoCompanion、CryptoController、dsPICDEM、dsPICDEM.net、Dynamic Average Matching、DAM、ECAN、EtherGREEN、In-Circuit Serial Programming、ICSP、INICnet、Inter-Chip Connectivity、JitterBlocker、KleerNet、KleerNetロゴ、memBrain、Mindi、MiWi、MPASM、MPF、MPLAB Certifiedロゴ、MPLAB、MPLINK、MultiTRAK、NetDetach、Omniscient Code Generation、PICDEM、PICDEM.net、PICkit、PICtail、PowerSmart、PureSilicon、QMatrix、REALICE、Ripple Blocker、SAM-ICE、Serial Quad I/O、SMART-I.S.、SQI、SuperSwitcher、SuperSwitcher II、Total Endurance、TSHARC、USBCheck、VariSense、View Sense、WiperLock、Wireless DNA、ZENAは米国と他の国に於けるMicrochip Technology Incorporatedの商標です。

SQTPは米国に於けるMicrochip Technology Incorporatedの役務標章です。

Adaptecロゴ、Frequency on Demand、Silicon Storage Technology、Symmcomは他の国に於けるMicrochip Technology Inc.の登録商標です。

GestICは他の国に於けるMicrochip Technology Inc.の子会社であるMicrochip Technology Germany II GmbH & Co. KGの登録商標です。

ここで言及した以外の全ての商標はそれら各々の会社の所有物です。

© 2020年、Microchip Technology Incorporated、米国印刷、不許複製

## 品質管理システム

Microchipの品質管理システムに関する情報については<http://www.microchip.com/quality>を訪ねてください。

日本語© HERO 2020.

本データシートはMicrochipのATtiny3216/3217障害とデータシート説明の英語版資料(DS80000887A-2020年5月)の翻訳日本語版です。日本語では不自然となる重複する形容表現は省略されている場合があります。日本語では難解となる表現は大幅に意識されている部分もあります。必要に応じて一部加筆されています。頁割の変更により、原本より頁数が少なくなっています。

汎用入出力ポートの出力データレジスタとピン入力は、対応関係からの理解の容易さから出力レジスタと入力レジスタで統一表現されています。一部の用語がより適切と思われる名称に変更されています。必要と思われる部分には()内に英語表記や略称などを残す形で表記しています。

青字の部分はリンクとなっています。一般的に赤字の0,1は論理0,1を表します。その他の赤字は重要な部分を表します。

## 世界的な販売とサービス

米国	亜細亜/太平洋	亜細亜/太平洋	欧州
<b>本社</b> 2355 West Chandler Blvd. Chandler, AZ 85224-6199 Tel: 480-792-7200 Fax: 480-792-7277 技術支援: <a href="http://www.microchip.com/support">http://www.microchip.com/support</a> ウェブアドレス: <a href="http://www.microchip.com">http://www.microchip.com</a>	<b>オーストラリア - シドニー</b> Tel: 61-2-9868-6733 <b>中国 - 北京</b> Tel: 86-10-8569-7000 <b>中国 - 成都</b> Tel: 86-28-8665-5511 <b>中国 - 重慶</b> Tel: 86-23-8980-9588 <b>中国 - 東莞</b> Tel: 86-769-8702-9880 <b>中国 - 広州</b> Tel: 86-20-8755-8029 <b>中国 - 杭州</b> Tel: 86-571-8792-8115 <b>中国 - 香港特別行政区</b> Tel: 852-2943-5100 <b>中国 - 南京</b> Tel: 86-25-8473-2460 <b>中国 - 青島</b> Tel: 86-532-8502-7355 <b>中国 - 上海</b> Tel: 86-21-3326-8000 <b>中国 - 瀋陽</b> Tel: 86-24-2334-2829 <b>中国 - 深圳</b> Tel: 86-755-8864-2200 <b>中国 - 蘇州</b> Tel: 86-186-6233-1526 <b>中国 - 武漢</b> Tel: 86-27-5980-5300 <b>中国 - 西安</b> Tel: 86-29-8833-7252 <b>中国 - 廈門</b> Tel: 86-592-2388138 <b>中国 - 珠海</b> Tel: 86-756-3210040	<b>インド - ハンガロール</b> Tel: 91-80-3090-4444 <b>インド - ニューデリー</b> Tel: 91-11-4160-8631 <b>インド - フネー</b> Tel: 91-20-4121-0141 <b>日本 - 大阪</b> Tel: 81-6-6152-7160 <b>日本 - 東京</b> Tel: 81-3-6880-3770 <b>韓国 - 大邱</b> Tel: 82-53-744-4301 <b>韓国 - ソウル</b> Tel: 82-2-554-7200 <b>マレーシア - クアラルンプール</b> Tel: 60-3-7651-7906 <b>マレーシア - ペナン</b> Tel: 60-4-227-8870 <b>フィリピン - マニラ</b> Tel: 63-2-634-9065 <b>シンガポール</b> Tel: 65-6334-8870 <b>台湾 - 新竹</b> Tel: 886-3-577-8366 <b>台湾 - 高雄</b> Tel: 886-7-213-7830 <b>台湾 - 台北</b> Tel: 886-2-2508-8600 <b>タイ - バンコク</b> Tel: 66-2-694-1351 <b>ベトナム - ホーチミン</b> Tel: 84-28-5448-2100	<b>オーストリア - ウェルス</b> Tel: 43-7242-2244-39 Fax: 43-7242-2244-393 <b>デンマーク - コペンハーゲン</b> Tel: 45-4485-5910 Fax: 45-4485-2829 <b>フィンランド - エスポー</b> Tel: 358-9-4520-820 <b>フランス - パリ</b> Tel: 33-1-69-53-63-20 Fax: 33-1-69-30-90-79 <b>ドイツ - ガルピング</b> Tel: 49-8931-9700 <b>ドイツ - ハーン</b> Tel: 49-2129-3766400 <b>ドイツ - ハイムブロン</b> Tel: 49-7131-72400 <b>ドイツ - カールスルーエ</b> Tel: 49-721-625370 <b>ドイツ - ミュンヘン</b> Tel: 49-89-627-144-0 Fax: 49-89-627-144-44 <b>ドイツ - ローゼンハイム</b> Tel: 49-8031-354-560 <b>イスラエル - ラーナナ</b> Tel: 972-9-744-7705 <b>イタリア - ミラノ</b> Tel: 39-0331-742611 Fax: 39-0331-466781 <b>イタリア - ハドバ</b> Tel: 39-049-7625286 <b>オランダ - デルネン</b> Tel: 31-416-690399 Fax: 31-416-690340 <b>ノルウェー - トロンハイム</b> Tel: 47-72884388 <b>ポーランド - ワルシャワ</b> Tel: 48-22-3325737 <b>ルーマニア - ブカレスト</b> Tel: 40-21-407-87-50 <b>スペイン - マドリッド</b> Tel: 34-91-708-08-90 Fax: 34-91-708-08-91 <b>スウェーデン - イェテボリ</b> Tel: 46-31-704-60-40 <b>スウェーデン - ストックホルム</b> Tel: 46-8-5090-4654 <b>イギリス - ウォーキングム</b> Tel: 44-118-921-5800 Fax: 44-118-921-5820
<b>アトランタ</b> Duluth, GA Tel: 678-957-9614 Fax: 678-957-1455 <b>オースチン TX</b> Tel: 512-257-3370 <b>ホーストン</b> Westborough, MA Tel: 774-760-0087 Fax: 774-760-0088 <b>シカゴ</b> Itasca, IL Tel: 630-285-0071 Fax: 630-285-0075 <b>ダラス</b> Addison, TX Tel: 972-818-7423 Fax: 972-818-2924 <b>デトロイト</b> Novi, MI Tel: 248-848-4000 <b>ヒューストン TX</b> Tel: 281-894-5983 <b>インディアナポリス</b> Noblesville, IN Tel: 317-773-8323 Fax: 317-773-5453 Tel: 317-536-2380 <b>ロサンゼルス</b> Mission Viejo, CA Tel: 949-462-9523 Fax: 949-462-9608 Tel: 951-273-7800 <b>ローリー NC</b> Tel: 919-844-7510 <b>ニューヨーク NY</b> Tel: 631-435-6000 <b>サンホセ CA</b> Tel: 408-735-9110 Tel: 408-436-4270 <b>カナダ - トロント</b> Tel: 905-695-1980 Fax: 905-695-2078			